

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月

基準日	(1)定時株主総会、期末配当金	3月31日
	(2)中間配当金	9月30日
	その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。	

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9時～17時)

(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
--------------------	---

【特別口座について】  
株券電子化前に、「[ほぶり]」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載します ( <a href="http://www.sansha.co.jp">http://www.sansha.co.jp</a> )。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

## 株式会社 三社電機製作所

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号  
TEL 06-6321-0321 FAX 06-6321-8621  
URL <http://www.sansha.co.jp>

UD  
FONT

## 株主様向けアンケート 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 6882

いいかぶ

 **空メールによりURL自動返信**  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 **携帯電話からもアクセスできます**  
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を  
進呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」  
TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
MAIL: info@e-kabunushi.com

SanRex LEADING THE NEW POWER ELECTRONICS ▶▶

# 第82期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日



岡山工場(半導体生産拠点)



滋賀工場(電源機器生産拠点)



 株式会社 三社電機製作所

証券コード: 6882

# To Our Shareholders



経営理念

## 社会に価値ある製品を

常に社会の求める製品の創造につとめ、よりよい品質によって社会の発展に貢献する。

## 企業に利益と繁栄を

常に衆知を集めて企業の繁栄をめざし、利益の確保につとめ社会的責任を全うする。

## 社員に幸福と安定を

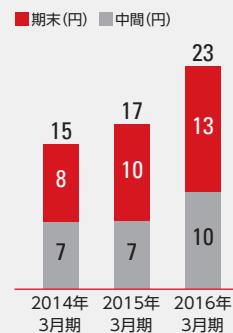
常に新たな英気をもって未来をみつめ信頼と協調によって社員の幸福と安定したくらしをはかる。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて当社は、平成28年3月31日をもって第82期事業年度を終了いたしましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度はお客様のご要望に応じた製品の開発や新製品の市場投入など、積極的に事業活動を行ってまいりましたが、半導体事業においては、前期には堅調であった中国をはじめとしたアジア諸国の需要が今期は一転して受注・売上ともに低調に推移し、電源機器事業では評価用大型設備電源が牽引する形で増収とはなりませんでした。その結果、売上高は221億9千1百万円(前期比0.3%増加)、営業利益は18億7千6百万円(前期比18.5%減少)、経常利益は18億1百万円(前期比21.3%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は

## 配当金



11億7千2百万円(前期比22.2%減少)となりました。

なお、期末配当は1株につき13円とさせていただきます、中間配当10円とあわせ年間配当金は23円となります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

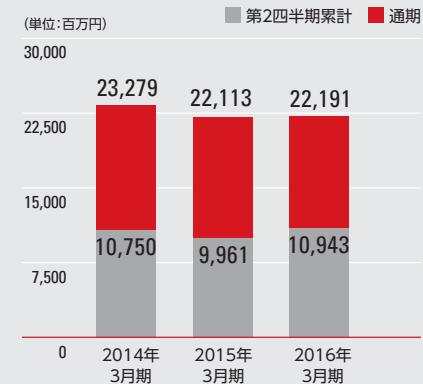
平成28年6月

代表取締役社長 四方邦夫

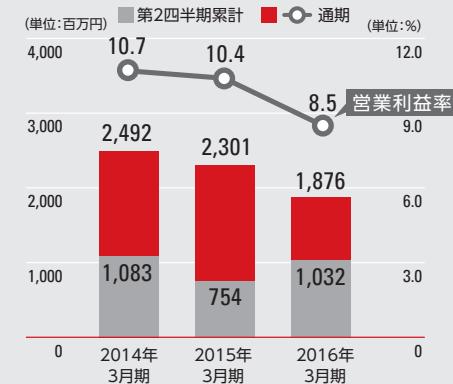
# Highlights | 第82期 ハイライト



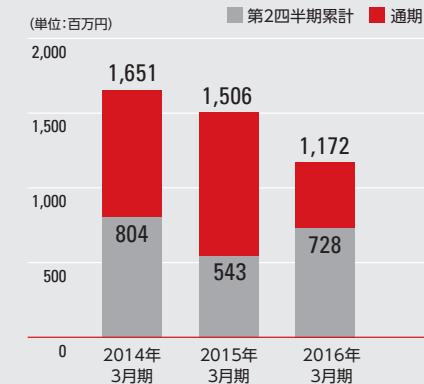
## 売上高



## 営業利益 / 営業利益率



## 親会社株主に帰属する当期純利益

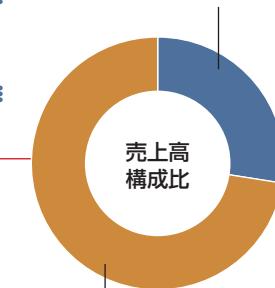


# Segment Information | セグメント別の概況

## 半導体事業



27.5%



当事業は、需要先が中国をはじめとするアジア諸国向けが多く、特に中国での景気減速によるインフラ投資の低迷は年間を通じて当社の主力製品であるモジュールの売上に影響し、国内向けの一部を除き、製品全体にわたって売上が減少しました。

この結果、当事業の売上高は、61億3百万円(前期比13.3%減少)となり、セグメント利益は、減収の影響に加え、将来に向けた先行投資に伴う固定費の増加などにより1億8千万円(前期比79.0%減少)となりました。

## 電源機器事業



当事業では近年、売上が牽引してきた太陽光パワーコンディショナにおいて、今期に入り小型品を終息させることを減収要因として織り込んでおりましたが、主力の大型品も需要が減少傾向にあり、前期に発売を開始した低圧連系対応品は売上に寄与したもののカバーするには至らず、インバータ全体では減収となりました。

しかし、光源機器用電源や充放電用電源が増収となったことに加え、産業用一般電源に含まれる評価用大型設備電源が全体を牽引する形となり、当事業の売上高は160億8千7百万円(前期比6.7%増加)となり、セグメント利益は増収により16億9千5百万円(前期比17.6%増加)となりました。

2016年2月29日発表

**Topics** 業界トップクラス<sup>\*1</sup>の変換効率  
**1** SiCパワーモジュール搭載  
絶縁型パワーコンディショナを開発

新開発SiCパワーモジュール<sup>\*2</sup>を搭載し、業界トップクラスの変換効率97.5%以上を実現したSOFC(固形酸化物形燃料電池)用20kW絶縁型パワーコンディショナを開発し、お客様に納入いたしました。

◆開発の背景◆

近年、国内でのエネルギーの安定供給と地球温暖化対策に貢献するクリーンエネルギーが注目され、エネルギーを活用する、さまざまな高効率化への技術開発が進められています。

このような環境の中、当社新開発のSiCパワーモジュールの採用に加え、従来の燃料電池用(中容量)パワーコンディショナにさまざまな工夫を施すことで、業界トップクラスの変換効率97.5%超の絶縁型パワーコンディショナを開発いたしました。

※1:定置用小型燃料電池システム系統連系保護装置等の個別試験方法JET GRO003-3-6.0(2015)定常試験回路による。

※2:パナソニック社のSiCパワー-MOSFET技術と当社の新開発パッケージ「テクノブロック」を採用することにより実現した高効率かつ業界最小<sup>\*3</sup>のSiC-MOSFETモジュール。

※3:耐圧1200Vのパワーモジュールとして。2015年3月4日現在、当社調べ。



SiCパワーモジュール  
「テクノブロック」パッケージ

固形酸化物形燃料電池用絶縁型パワーコンディショナ

2015年12月2日発表

**Topics** 国内シェアNo.1  
**2** 小容量 金属表面処理用電源  
「DCAUTO」をフルリニューアル

小容量 金属表面処理用電源として国内シェアの高い「DCAUTO(ディー・シー・オート)」をフルリニューアルし、省エネ・省スペース・高信頼性を実現する「DCAUTO HK-Gシリーズ」の販売を開始いたしました。

◆開発の背景◆

当社の小容量 金属表面処理用電源「DCAUTO」は、1979年より販売を始め、電流制御精度が高く、安定性に優れているため「均質なめっき仕上がりが実現できる」と、長年多くの企業様にご利用いただいております。国内シェア1位<sup>\*</sup>です。(※2014年 10-300A表面処理用電源の国内出荷台数 当社調べ。)

近年、装飾めっきだけでなく、半導体や電子部品に使用されるリードフレームやFPC(フレキシブルプリント基板)コネクタなどへのめっき処理等、さまざまな機能めっきへのニーズが高まっています。そのため、表面処理(めっき)用電源に対する高精度・高安定性に加えて、地球環境に配慮した省エネルギー性も求められるようになりました。当社は長年培ってきた開発ノウハウにより、上記要求に加え、より長く安定してご使用いただけるよう、耐環境性にも配慮した新製品を開発いたしました。



HKD-1510G  
自然空冷10Aタイプ

HKD-15100G  
強制空冷100Aタイプ

HKD-1530G  
自然空冷30Aタイプ

2015年11月6日発表

**Topics** 世界最大容量<sup>\*1</sup>  
**3** 系統連系パワーコンディショナ  
評価システムを開発

世界最大5MVA(メガボルトアンペア)容量のパワーコンディショナ試験評価・研究用シミュレータシステムを開発し、産業技術総合研究所<sup>\*2</sup>の福島再生可能エネルギー研究所<sup>\*3</sup>に納入いたしました。

この評価システムは、太陽光を模擬的に発生させる電源装置とパワーコンディショナからなるさまざまな設備をシミュレーションできる電源装置がセットになったものであり、発電から電力系統までの流れを模擬的に再現することで、各種パワーコンディショナの評価が可能となります。

また、このシステムを応用することにより、世界各地の電力系統や、各種発電方式の出力特性、天候による出力変動等の再現が可能です。

※1:2015年11月現在。

※2:国立研究開発法人産業技術総合研究所(通称 産総研)

日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化や、革新的な技術シーズを事業化に繋げるための日本最大級の公的研究機関。

※3:平成26年4月に福島県郡山市に開所した、再生可能エネルギーに関する新技術を生み出し、発信する拠点。



5MVA ACシミュレータ

**Topics** 「電子部品・材料EXPO」  
**4** 「第6回国際スマートグリッド  
EXPO」に出展

2016年1月に「ネプコンジャパン2016 電子部品・材料EXPO」へ出展し、当社主力製品のひとつである新製品の金属表面処理用電源「DCAUTO HK-Gシリーズ」と、パワー半導体「SiCモジュール等」を展示いたしました。

また、3月には「スマートエネルギーWeek2016 第6回国際スマートグリッドEXPO」に出展し、スマートグリッド社会に向け、エネルギーの「創・省・蓄」に加え、電力を「安定させる・評価する」当社製品群を展示いたしました。



「電子部品・材料EXPO」  
2016年1月13日  
～1月15日



「第6回国際スマートグリッドEXPO」  
2016年3月2日  
～3月4日

## 会社概要

商号 株式会社三社電機製作所  
本社 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号  
設立 昭和23年4月28日  
資本金 27億7,427万7,500円  
従業員数 (連結)996名 (単体)720名

## 事業所

### 国内

本社 大阪市東淀川区西淡路3-1-56  
東京支店 東京都台東区東上野1-28-12  
九州営業所 福岡市博多区博多駅東2-15-19  
滋賀工場 滋賀県守山市勝部町452-1  
岡山工場 岡山県勝田郡奈義町柿1741

### 海外

韓国駐在員事務所(ソウル)  
台湾駐在員事務所(台北)

## 子会社

### 海外

株式会社 三社ソリューションサービス(平成28年4月1日設立)  
サンレックスコーポレーション(アメリカ)  
サンレックスリミテッド(香港)  
サンレックスアジアパシフィック PTE.LTD.(シンガポール)  
三社電機(上海)有限公司(中国)  
佛山市順徳区三社電機有限公司(中国)

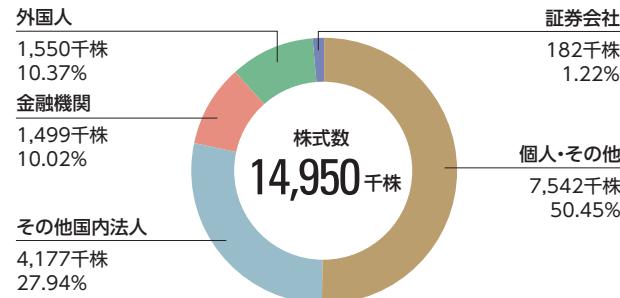
## 株式の状況

■発行可能株式総数 42,600,000株  
■発行済株式の総数 14,950,000株  
■株主数 3,673名  
■大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
パナソニック株式会社	3,364	23.22
四方 邦夫	1,088	7.51
三社電機従業員持株会	370	2.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	329	2.27
三井住友信託銀行株式会社	326	2.25
株式会社池田泉州銀行	314	2.17
森田 浩一	300	2.07
株式会社三井住友銀行	280	1.93
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	204	1.41
四方 ちま子	179	1.24

(注)1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2.当社は、自己株式を457,099株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
3.持株比率は、自己株式を除いて算出し、小数点3位以下を四捨五入して表示しております。  
4.日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数はすべて信託業務に係るものであります。

## ●所有者別株式分布状況



※自己株式(457,099株)は、「個人・その他」に含めています。

## 株主各位

大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号  
**株式会社 三社電機製作所**  
取締役社長 四方 邦夫

## 第82期 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第82期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項**
- 第82期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は上記事業報告、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
  - 第82期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)計算書類の内容報告の件  
本件は上記計算書類の内容を報告いたしました。

## 決議事項

- 第1号議案** 剰余金の処分の件  
本件は原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき13円と決定いたしました。
- 第2号議案** 定款一部変更の件  
本件は原案のとおり承認可決されました。
- 第3号議案** 取締役6名選任の件  
本件は原案のとおり四方邦夫、吉村 元、荒井 亨、藤原正樹、阪上 宏、宇野 輝の6氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第4号議案** 監査役3名選任の件  
本件は原案のとおり北野市郎、小川洋一、折井 卓の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以 上

## 第82期 期末配当金のお支払いについて

- 第82期期末配当金は、同封の「第82期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、最寄りのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)において払渡期間内(平成28年6月29日から平成28年8月1日まで)にお受け取りください。
- 銀行振込ご指定の方には、「第82期期末配当金計算書」及び「配当金のお振込先について」を同封いたしましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。  
また、同封しております「第82期期末配当金計算書」は、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけますので、お手元にご保管ください。